

星の日周運動 1

名前

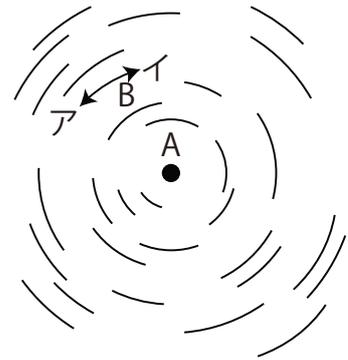
点

1 下の()に適切な極を入れなさい。

天体が1日に1回地球のまわりを回る様に見える動きを天体の()
 という。この動きは、地球が北極と南極を結ぶ () を中心に
 () から () の方向に () することにより起こる
 見かけの運動である。

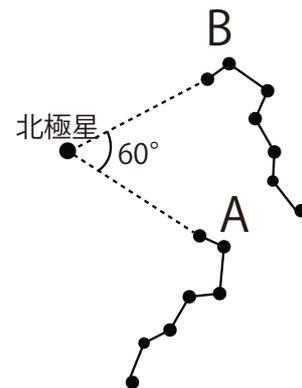
2 右の図は日本のある地点の北の空の動きを示したもので
 ある。次の問いに答えなさい。

- ① 図の中心付近にある星Aを何というか。
- ② ①の星はなぜ動かない様に見えるのか。簡単に説明しなさい。
- ③ 図のBの星はア、イのどちらの方向に動くか。
- ④ Bの星は1時間に何° ずつ移動している様に見えるか。



3 右の図は北斗七星を時間をおいて
 2回観測したものである。

- ① この観測は東、西、南、北のどの空を見て行ったものか。
- ② この日の最初の観測を午後7時に行った。この時の星座の位置はA, Bのどちらか。
- ③ 2回目の観測を行ったのは何時か。



解答

1

天体が1日に1回地球のまわりを回る様に見える動きを天体の(**日周運動**)
という。この動きは、地球が北極と南極を結ぶ (**地軸**) を中心に
(**西**) から (**東**) の方向に (**自転**) することにより起こる
見かけの運動である。

2

- ① 北極星 ② ほぼ地軸の延長線上にあるから。
③ ア ④ 15°

3

- ① 北 ② A
③ $60^\circ \div 15^\circ = 4 \text{ 時間}$
 $7 + 4 = 11$ 午後 11 時